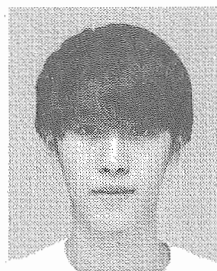


学生と教員の見方



【アピールポイント】
音楽が好きで、休日は家で音楽を聴いたりギターを弾いたりしています。運動も好きで兄弟でバスケットをしています。

【学生の見方&考え方】

(4年 田ノ岡和希)

少子高齢化問題に対処す

ためには、人口増加を目

指し、子育てしやすいまち

づくりが不可欠。日本では

少子化が進行しているが、

高齢者の割合が増加する一

方であり、人口が減少して

いる。このままだと、働き

手の不足や老人保健費の増

大などが続き、国全体の発

展が難しくなっている。

そのため、少子高齢化の

克服を目指し、出生率の向

上を図る対策を講じる必要

がある。支援策としては、

が挙げられる。また、安全

で清潔な公園や公共施設の

整備、子どもが安心して遊

べる環境の整備も必要であ

る。こうしたまちづくりは、

子育て世代にとって魅力的

な生活環境を提供し、人口

増加のための基盤をつくること

になる。

流山市は、子

育て支援に積極

的に取り組む自治体として

注目されている。特ににお

たかの森は、自然環境と都

市機能が調和したまちづく

りで人気を集めている。保

育施設や学童保育の充実、

に詳しく調べていく。

【教員による展開】

(西村愛准教授)

我が国の人口は、201

1年以降13年連続で減少し

ており、国立社会保障・人

口問題研究所の将来推計人

口問題研究所の将来推計人

口問題研究所の将来推計人

口問題研究所の将来推計人

口問題研究所の将来推計人

口問題研究所の将来推計人

口問題研究所の将来推計人

口問題研究所の将来推計人

口問題研究所の将来推計人

口問題研究所の将来推計人

口問題研究所の将来推計人

止めをかけ、子育て世代が、

結婚や出産、子育てに対す

る安心感を抱けるような環

境を整備することが必要で

ある。

まちづくり・不動産の分

野で子育てを支援する取り

組みはどのようなものがあり

るか。例えば国土交通省で

は、「こども未来戦略」

(23年12月22日閣議決定)

や「こども大綱」(同年12

月22日閣議決定)を踏まえ

子どものための近隣

地域の生活空間を形

成する施策「こども

まんなかまちづく

る。「こどもまんなかまち

づくり」とは、子どもや子

育てをする人が安心・快適

に暮らせるような生活環境

をつくることである。具体

例として、子育て世帯等に

対する住宅支援の強化で

は、例えば、子育てに必要

めていく。

な広さや間取りを備えた住

戸の供給や、防犯性や利便

性に優れた住戸の確保支援

がある。また、子育てしや

すい居住環境・周辺環境の

実現に向けた取り組みで

は、例えば、高齢化の進行

や空き家の発生等が見込ま

① 子育てにやさしいまちづくり

出生率向上の支援策が必要

注目の流山市、若者中心に人口増

人口が増加、子育てしやす

い都市としての評価を高め

我が国の人口が9000万

人を割り込むと推計されて

いる。少子高齢化・人口減

少は、我が国の未来を左右

する問題である。急激な人

口減少の抑制のためには、

子どもの出生率の低下に歯

を、例えば、子育てに必要

めていく。

な広さや間取りを備えた住

戸の供給や、防犯性や利便

性に優れた住戸の確保支援

がある。また、子育てしや

すい居住環境・周辺環境の

実現に向けた取り組みで

は、例えば、高齢化の進行

や空き家の発生等が見込ま

れる住宅団地を再生し子育

て世代の生活支援施設等の

整備や若年世帯の住替えを

促進するリフォーム等に対

する支援等が挙げられる。